

## 学校経営推進費 評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立東住吉高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国公立大学進学者数の維持・増加</li> <li>・ 難関私立大学進学者数の増加</li> </ul>
計画名	QA (Question&Advice) スペースプラン ～進路に向けての疑問はここで解決！～

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 進路を実現する確かな学力の養成 (2) 一人ひとりの生徒の希望の進路を実現する。</p> <p>ア 大学関係者による講演や大学見学など、進路について考える機会を用意し、希望の進路を実現する強い意志を育む。</p> <p>イ 年間を通じた自習室運営、長期休業中の学習マラソンなどに学校組織として取り組み、生徒一人ひとりの学習習慣の確立を図る。</p> <p>ウ 外部産業を活用して効率的に情報収集、情報分析を行い、新大学入試に向けて生徒支援のための情報共有を進める。</p> <p>* H30 年度入試結果（国公立 21 名、関西難関私立大学 122 名（現役 9 クラス））を 2021 年度入試で国公立大学 30 名以上、関西難関私立大学合格 150 名以上（現役 8 クラス）とする。</p>
事業目標	<p>この「QA スペース」は、従来本校が力を入れて全教員で運営してきた「自習室」など生徒の自主学習の習慣確立をサポートするための質問スペースであり、また、進路指導部が主催して教員が情報収集・情報分析した進路情報を個々の生徒に伝えていくためのアドバイススペースであり、進路決定に向けて不安を抱く生徒に寄り添い、励ますためのカウンセリングスペースともなる場所である。このスペースを設置することで、生徒の進路実現のための支援を強化する。</p>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二人用机…15 脚</li> <li>・ 椅子…30 脚</li> <li>・ 電気スタンド…15 台</li> </ul>
取組みの 主担・実施者	教頭・首席
本年度の 取組内容	<p>本校では、8 月及び年末年始の 4～6 日間を除き、平日は午前 7 時から午後 7 時まで、土曜日曜祝日は午前 9 時から午後 5 時まで、生徒の学習意欲を喚起し学習習慣の確立を支援するため、ほぼ毎日自習室を開室している。定期考査期間中には自習室の座席が不足することから、自習室のほか視聴覚階段教室、会議室の 2 つの部屋が臨時的自習室となることもある。今まで、生徒が自習室等で自学自習を行う過程での教員への質問等については、自習室は完全に無言での活用が習慣となっているため、各教科の職員室前などで、生徒・教員の双方が立ったまま、質問をしたり、指導を受けたりしていた。</p> <p>一昨年度、学校経営推進費を活用した QA スペースを設置したことにより、質問等がある生徒は、各教科の準備室前に設置された「QA スペース」で双方が座った状態で指導を受け</p>

	<p>ることができるようになった。QAスペースの新設により、生徒からは「質問しやすい」、「質問を待つ間も勉強できる」といった声を聞いている。</p> <p>また、教員からは「熱心に質問、自習している生徒が多数見られる」「出勤してくる教員を準備室前のこのスペースで勉強しながら待ち構えている」などの感想が聞かれ、QAスペースは非常によく活用されている。</p>
<p><b>成果の検証方法 と評価指標</b></p>	<p>①国公立大学合格者数目標 30 名以上【H30 年度 36 名（現役 21 名）】 【H29 年度 27 名（現役 22 名）】【H28 年度 38 名（現役 22 名）】</p> <p>②難関私立大学合格者数目標 150 名以上（8 クラス）【H30 年度 161 名（現役 122 名）】 【H29 年度 176 名（現役 147 名）】【H28 年度 250 名（現役 214 名）】</p>
<p><b>自己評価</b></p>	<p>①国公立大学合格者数の維持・増加 ⇒令和元年度は現役では 28 名、現役浪人合わせては 35 名の合格となり、現役生の中にも京都大学や、大阪市立大学、防衛大学校等上位大学への合格により成果を出すことができた。一定 QA スペースの効果は出たと考える。……………（○）</p> <p>②難関私立大学進学者数の増加 ⇒令和元年度の合格者数は現役では 91 名、現役浪人合わせては 123 名となり、難関私立大学が難化傾向にある中で、健闘しており、QA スペース活用による成果は出たと考える。……………（△）</p>
<p><b>事業のまとめ</b></p>	<p>生徒達の学習スペースとして、自習室では周りの生徒からの圧迫感があり、なかなか集中できない生徒の居場所となっている。すぐにわからないところを教員に質問できるメリットがあり、生徒達に丁寧に教える事ができ、今後の効果は期待できる。また、学習だけでなく、教員が面談によく使用しており、職員室前の QA スペースは、朝から放課後まで使用していることが多い。しかし、使い方によっては、生徒がただ単に私語だけのスペースになってしまう恐れもあるため、飲食は禁止等の使用時のルールを徹底した。また、個別相談が必要な生徒も増えてきており、気軽に教員に相談できるスペースとしても活用されており、非常に有効である。今後もさらに有効活用できるように、教員が意識しながら生徒達に働きかけていく。</p>